

じんけんげき  
人権劇「みんなでいじめをのりこえよう！」シナリオ

いち ぼ めん まち ひと で あ  
【一の場面】町の人との出会い

ナレーター	ある日の放課後、なかよし5人組の小学生が下校しています。
町の人1	「うー・・・。」
子ども1	「あれ、あの人がどうしたんだろう？」
子ども2	「何か具合が悪そうだよ。」
子ども3	「行ってみよう。」 (5人の子どもたちが走り出す。)
子ども4	「大丈夫ですか？」
町の人1	「急におなかが痛くなって・・・う・・・。」
子ども5	「大変だ！子ども110番の家の人に知らせよう！」 (近所の人に走り出す。)
子ども5	「すみませーん！すぐそこに具合が悪くなった人がいるので、助けてく ださい！」
町の人2	「わかった！その人の所へ案内して！」 (その人を案内し、救急車が到着する。)
子ども3	「もう大丈夫ですよ！がんばってください！」
町の人1	「あ・り・が・と・う・・・。」
子ども4	「あー、びっくりしたー。」
子ども2	「助かって、よかったねー。」

に ば めん がっこう ば めん  
【二の場面】 学校でのいじめの場面

ナレーター

がっこう きょうしつ  
学校のある教室です。

子ども 6

「今日もひろこちゃんにいじわるしよう。」

子ども 7

「あの子、いやだよねー。」

子ども 8

「うんうん、何する？」

子ども 6

「わざとぶつかって、給食をこぼしちゃおうよ。」

子ども 7

「わかった！」

(わざとひろこにぶつかって、給食をこぼす。)

子ども 7

「あつっ！何するの？」

ひろこ

「あ・・・。」

子ども 9

「うわっ、なにやってんだよ！服がよごれたやっか！」

子ども 10

「また、ひろこかよー。早く拭けよ！」

ひろこ

(あわててふく。)

(3人の女の子がにやにやして見ている。)

子ども 6

「先生にチクったりしたら、もっとするからね。」

子ども 8

「ただの遊び、遊び」

ひろこ

(下を向く。)

ナレーター

みなさん、どう思いますか。これが遊びだと思えますか。ひろこさんは、  
ずっといじわるされたり、仲間はずれにされたりしていました。そして、  
まわりの友だちも、それを注意してはくれませんでした。

さん ば めん まち ひと さいかい  
【三の場面】 町の人との再会

ナレーター その日の帰り道です。あのなかよし5人組が学校から帰っています。

子ども1 「あのさー。今日のこと、どう思う？」

子ども2 「うん、ひろこちゃんのことですよ。あれ、ひどいよね。」

子ども3 「ひろこちゃん、かわいそうだよ。」

子ども4 「なんとかできないかなあ。先生に言ってみる？」

子ども5 「そんなことしたら、今度は私たちがされるよ。」

子ども3 「うんうん。怖いよね。」

子ども1 「どうにかできないのかなあ。」

町の人2 「おーい！」

子ども4 「あ！この間の人だ！」  
(子どもたち、走って近づいていく。)

子ども5 「もう具合は大丈夫なんですか？」

町の人1 「ええ、すっかりよくなったの。」

町の人2 「君たちがすぐに知らせてくれたから、よかったんだよ。もうちょっと遅かったら、命が危なかったらしいよ。」

町の人1 「本当にありがとう。」

子ども3 「よかったですね！」  
(みんなでうなづく。)

町の人1 「ところで、今、何か暗い顔して話してたみたいだけど、どうかしたの？」

子ども3 「い、いえ・・・。」  
(友だちの顔を見る。)

子ども1 「話してみる？」

子ども4 「思い切って、話してみようよ。」

子ども2 「そうだね。自分たちだけじゃ、何も思いつかないし。」  
(まわりの子どもたちもうなづく。)

子ども1 「実は・・・。」  
(町の人に話をするふり。町人はうなずきながら聞いている。)

ナレーター なかよし5人組は、ひろこちゃんのことを相談してみました。

町の人1 「それは、ひろこちゃんも、みんなもつらいよね。」

町の人2 「そうだ、今度ひろこちゃんもさそって、みんなでどうするか考えてみないか？」

子どもたち 「ありがとうございます！」

よん ば めん まち ひと そうだん  
【四の場面】 町の人に相談する

ナレーター つぎ ひ にんぐみ さそ まち ひと あ  
次の日、なかよし5人組はこっそりひろこちゃんを誘って、町の人に会  
いました。

まち ひと  
町の人 1 「ひろこちゃん、みんなから話を聞いたよ。つらかったね。みんなも何  
とかしたいって思っているから、何があったのか、話してみてくださいな  
い？」

まち ひと  
町の人 2 「私たちも何とかしたいんだ。信じて話してみてください。」

まち ひと  
まち ひと  
町の人 1・2 (うなずく。)

ひろこ (みんなの顔をじっと見る。)

ひろこ 「実は・・・夏休みが終わってから、ずっといじわるをされてるんで  
す。ものをかくされたり、汚いって言われてさけられたり・・・。ど  
うしてこんなことをされるのか、わからないんです。もう学校にも行き  
たくなくて。私のどこが悪いんですか？どこを直せば、いじめられな  
くなるんですか？」

(ひろこ、泣き出す。)

まち ひと  
町の人 1 「ひろこちゃん、あなたは何にも悪くないよ。いじめは、いじめられる人  
がいるから起こるんじゃない。いじめる人がいるから起こるのよ。一番悪  
いのは、一緒になっておもしろがっていじている人だわ。」

まち ひと  
町の人 2 「そうだよ。自分が悪いなんて考えないで、これからどうやっていじ  
めを無くしていくか、考えようよ。ここには、同じクラスの友だちも  
いるじゃないか。だまって見ているのは、いじているのと同じだから  
ね。」

(子どもたちの方を見る。)

こ  
子ども 1 「うん、そうだよ！」

こ  
子ども 2 「私たちががんばる！」

こ  
子ども 3 「いっしょに考えよう！」

こ  
子ども 4 「ひろこちゃん！」

ひろこ (みんなの顔をじっと見て。)「ありがとう・・・。」

こ  
子ども 5 「いじめを無くすチームのスタートだね！」

こ  
子どもたち 「うん！」

こ  
子ども 5 「でも・・・これからどうしたらいいのかなあ・・・。」

まち ひと  
町の人 2 「いい作戦があるよ！みんな集まって！」

ナレーター みんなは、町の人からいじめを無くす3つの作戦を教えてもらいました。

【五の場面】いじめを無くしていく

ナレーター	さあ、いよいよ「いじめを無くすチーム」の作戦が始まりました。さて、 いったいどんな作戦なのでしょう。
ナレーター全員	<b>「作戦その1！ ひろこちゃんを救え！」</b>
子ども1	「ひろこちゃんがいじわるされそうになったら、ひろこちゃんをどこかに連れて行くよ！」
子どもたち	「おー！」
ナレーター	休み時間です。
子ども6・7・8	(子ども6・7・8が、ひろこに近づこうとする。)
子どもたち	「ちょっと、ひろこちゃん来て。お願いがあるの。」
子ども6・7・8	(子どもたちが、ひろこを教室から連れ出す。)
子ども6・7・8	「ちえ・・・」
ナレーター全員	<b>「作戦その2！ チームの仲間を増やせ！」</b>
子ども2	「ねえねえ、ちょっと相談したいことがあるんだけど。」
子ども11	「何？」
子ども3	「あのさ、ひろこちゃんがいじわるされてるの知ってるでしょ？」
子ども11	「うん・・・」
子ども4	「今ね、先生とも相談して、いじめを無くすチームをつくってるんだけど、入ってくれない？」
子ども11	「わかった。ぼくもなんかいやだったんだ。ほかの男子にも声をかけてみようか？」
子ども5	「ありがとう！でも、ぜったいバレないように気をつけてね！」
子ども11	「わかった！」
ナレーター	こうして、いじめを無くすチームのメンバーが増えていきました。
ナレーター全員	<b>「作戦その3！ 学級会を開け！」</b>
担任の先生	「今日は、学級会を開きます。みんなも知っていると思うけれど、このクラスでいじめが起こっています。このことについて、みんなの気持ちを聞きたい。誰からでもいいから、話してくれないか。」
子ども6	「誰も言うわけないじゃん。ねー。」
子ども7・8	「うんうん。」(ニヤニヤしている。)
子ども1	「はい！私は、ひろこちゃんがいじわるされているのを、だまってみていました。ひろこちゃん、ごめんね。」
子ども2	「わたしも、なおこさんやみゆきさんやけいこさんが怖くて、何も言えませんでした。でも、もうだまっているのはいやです。」
子ども9	「ぼくも、ひろこちゃんにひどいことを言いました。もうしたくないです。ひろこちゃん、ごめんなさい。」
担任の先生	「なおこさん、みゆきさん、けいこさん、今のことは本当ですか？」
子ども6・7・8	(下を向いて、泣き出す。)

ろく ばめん まち ひと ほうこく  
【六の場面】 町の人に報告する

ナレーター その日の帰り道。なかよし5人組とひろこさんが下校しています。

ひろこ 「今日（きょう）はありがとう。すごくうれしかった！」  
子ども1 「みんな自分の気持ち（きもち）を言（い）ってくれて、うれしかったよねー。」  
子ども2 「うんうん、大成功（だいせいこう）だったね！」  
子ども3 「あの3人（さんにん）の顔（かお）、見（み）た？」  
子ども4 「うんうん、いい気味（きみ）だったねー。」  
子ども5 「あ！」

ナレーター とお ほう さくせん おし まち ひと み  
遠（と）くの方（ほう）に、作戦（さくせん）を教（おし）えてくれた町（まち）の人（ひと）たち（たち）が見（み）えました。

まち ひと  
町（まち）の人（ひと）2 「おーい！」  
こ  
子どもたち（たち） （町（まち）の人（ひと）に走（はし）り寄（よ）っていく。）  
こ  
子ども1 「作戦（さくせん）、うまくいったよ！」  
まち ひと  
町（まち）の人（ひと）1 「そう。ひろこちゃん、よかったわね！」  
ひろこ 「はい！ありがとうございまして！」  
こ  
子ども3 「いじめてた子（こ）たち（たち）も泣（な）いてましたよ！」  
こ  
子ども4 「うん！ざまあみろって感（かん）じだったね！」

ナレーター すると、まち ひと かお きゆう けわ  
すると、町（まち）の人（ひと）の顔（かお）が急（きゆう）に険（けわ）しくなりました。

まち ひと  
町（まち）の人（ひと）2 「ちょっと待（ま）って。それは違（ちが）うんじゃないか？みんなは、いじめを無（な）く  
すチーム（チーム）だろ？いじめてた3人（さんにん）に仕返（しかえ）しがしたかったのかい？」  
こ  
子ども3・4 「え・・・。」  
こ  
子ども5 「違（ちが）う・・・。」  
まち ひと  
町（まち）の人（ひと）1 「でしょ？まだ作戦（さくせん）は終（お）わってないわよ！いじめていた子（こ）たち（たち）だって、  
なに なや  
何か（なに）悩（なや）んだり、イライラしてたりしてたんじゃないの？」  
こ  
子ども2 「そうか！いじめてた人（ひと）たち（たち）も仲（なか）間にしなないといけないんですね！」  
こ  
子ども1 「明日（あす）、なおこちゃん（ちゃん）たち（たち）と話（はな）してみよう！」  
こ  
子どもたち（たち） 「うん！」  
まち ひと  
町（まち）の人（ひと）1・2 （うなずきながら、ニコニコしている。）

【七の場面】 いじめていた友だちと話す

ナレーター つぎ ひ きょうしつ がつきゆうかい あと にん おんな こ  
次の日の教室です。学級会の後、いじめていた3人の女の子たちは、  
すっかり元気をなくしていました。教室でも、3人に話しかける人は  
いません。

ナレーター 全員 さいご さくせん ぜんいん なかま  
「最後の作戦！ 全員をチームの仲間にしよう！」

子ども1 「ねえ、ちょっと話したいことがあるんだけど。」

子ども6 「何？私たちが悪かったって、もうわかったから、いいでしょ！」

子ども7・8 (元気がない顔で、子ども1を見る。)

子ども2 「私たちは、あなたたちを仲間はずしにしたかったわけじゃないの。」

子ども3 「でも、今度は私たちが仲間はずしをしたみたいになって……。ご  
めんね。」

子ども6 「え……。」

子ども7 「でも、もうみんなに信じてなんか、もらえない。」

子ども8 「私たちが悪かったんだから、仲間はずれにされてもしょうがないよ。」

子ども4 「ねえ、今の気持ちをみんなに話してくれない？そうすれば、きっとみ  
んなもわかってくれると思うよ。だって、いじめは、私たちみんなに  
も責任があるんだから。」

子ども5 「そうだよ！ねえ、ひろこちゃん。」

ひろこ 「うん！」

ナレーター つぎ ひ にん おんな こ な つがら じぶん きもち  
こうして、次の日、3人の女の子たちは、泣きながら自分たちの気持  
ちを話してくれました。それを聞いて、みんなも3人に「ごめんね。」  
とあやまりました。そして、その後は……。

子ども1 「いじめのないクラスって楽しいね！」

ひろこ 「うん！」

子ども6 「なんだか、楽ちんだよねー。」

子どもたち 「そうそう！わかるわかる！」

ナレーター げき ちから あ な  
みなさん、劇はどうでしたか？いじめは、みんなが力を合わせれば無  
くしていくことができると思います。クラスの中で悩んでいる友だちが  
いないか、いつもみんなで気にしていれば、きっと楽しい学校になって  
いくと思いますよ！これで、劇を終わります。

全員 「ありがとうございます！」